

筒木 潔 (つつききよし)

1951年12月 愛知県岡崎市で出生

愛宕小学校、葵中学校を経て、1970年岡崎高校卒

名古屋大学農学部農芸化学科 1970 - 1974年在学卒業 (土壌学)

名古屋大学農学修士 1976年、博士 1979年3月修了。

鍬塚昭三教授の下で

博士論文「土壌腐植酸に関する化学的研究」を提出。

IRRI 博士研究員 1980年11月から1983年3月末まで

Dr. F. N. Ponnampetura (Department of Soil Chemistry)の下で

Anaerobic decomposition of organic matter in submerged soils. を研究。

1983年7月から1984年10月末まで、西ドイツ、ハンブルク大学土壌学研究所 (Uni Hamburg, Ordinariat f. Bodenkunde), Prof. Hans Wilhelm Scharpenseelの下で土壌の粒径と土壌年代の関係について研究。1986年10月から1987年3月にかけても同研究所を再訪し研究を継続。

1984年12月から1991年3月まで 名古屋大学農学部土壌学研究室助手

1991年4月から2015年3月まで 帯広畜産大学助教授～教授

2015年4月 帯広畜産大学名誉教授、再雇用教授任用

2017年3月 再雇用教授退職

その後、非常勤講師として週に1回、別科土壌作物栄養学および土壌作物栄養学実習を担当中。

IRRI のポストクに応募したきっかけ

1980年頃渡辺巖先生が名古屋大学農学部の鍬塚先生を訪問され、その際オーバードクターであった私とも話をしてくださり、土壌化学の Ponnampetura 博士がポストクを探していることを紹介して下さいました。そこで手紙を書いて応募したところ、いろいろな手続きの後に採用して頂けることとなった。

IRRI への赴任と同じ頃私は結婚し、ポストク任期中に長女が生まれた。初めての海外生活でもあり、思い出多いポストク期間であった。

当時アメリカにおられた李さん (名古屋大学の先輩) からは、ポストク生活やポスト探しについて度々アドバイスを頂き感謝しています。

私が IRRI に在籍していた頃お世話になった方がた

吉田昌一先生 † (Principal Plant Pathologist) よし子様 (奥様)

渡辺巖先生 (Principal Soil Microbiologist)

菊地眞夫先生 (Agricultural Economics) 正子様 (奥様)

持田 作先生 (Entomology)、日比野先生 (Plant pathology)

岩田伸夫先生 (九州大学, Plant Breeding)、吉村 淳さん (当時九大院生)

山内益夫先生 † (鳥取大学, Plant Physiology)、島田義明さん (鳥取大学院生)

末永一博さん (北大, Plant Physiology)

内田直次さん † (神戸大学, Plant Physiology)、葉子さん (奥様)

犬伏和之さん (東京大学院生, Soil microbiology)

古川久夫先生 (京都大学, Pedology)

山内稔さん (九州大学, Plant Physiology)

小川雅広さん (京都大学, Plant Physiology)

UPLB-熱帯農研 御子柴晴夫先生 † (Plant pathology)

JICA 関係 坪井達史さん、富高元徳さん御夫妻、藤原さん御夫妻、酒井さん(?)

UPLB 院生 (青年海外協力隊 OB) 藤井一郎さん †、三浦照男さん、岡本さん